

2019年6月21日  
株式会社キトー

本日2019年6月21日に実施いたしました、第75回定時株主総会にて、株主様からいただいたご質問と当社からの回答の要旨を、下記のとおり公開いたします。

## 1 番目にご質問された株主様

質問：現在の株価水準についてどうお考えですか。機関投資家へのアピールが不足していませんか。

株式市場での評価を高めるには、経営陣としてはまず業績を成長させること、次に会社の事業、業績について積極的に投資家と対話することが重要であると考えております。企業の評価について、社会貢献やガバナンスといった「公器としての質」を重視する流れを意識しつつ、ご指摘いただいた通りESGなどの側面からの情報発信をより一層充実させていく所存です。

## 2 番目にご質問された株主様

質問：連結業績は増収増益ですが、地域セグメントでは、アジアで売上・利益ともわずかに減少、欧州では減益です。それぞれ背景をご説明ください。

まず地域セグメントはその地域のみでの売上・利益であり、日本から各地域の子会社へ輸出した際の利益は日本セグメントに含まれておりますこと、ご承知置きください。アジアでは売上の伸長よりもむしろ、利益を重視し、タイ・インドネシアなどの地域で、着実に成果を上げております。韓国では10年近く高水準で推移したディスプレイ業界の投資が急落した結果、アジア全体では売上・利益とも微減となったものの、事業は健全な状態にあります。欧州での減益は、近年買収したイタリア子会社を新たに連結したことが要因です。もともと欧州で営んできた事業は急成長を遂げており、買収直後の若い事業も今後、改善をはかってまいります。

## 3 番目にご質問された株主様

質問：最近株主になりました。社名と社長の名前が同じですが、創業者と社長の関係を教えてください。

キトーは1932年に東京の大森で、小さな町工場からスタートしました。創業者は私（鬼頭社長）の祖父で、私は経営者として三世目になります。家族経営から少しずつ会社が成長し、今では創業家の株式所有は数%です。家族経営のアットホームな雰囲気は残しつつ、グローバル企業として発展基盤を強化し、次世代の経営者は創業一族以外になると個人的には考えております。

## 4 番目にご質問された株主様

質問：さらなる成長にはグローバルな視点での人材活用・育成が重要だと思いますが、お考えをお聞かせください。

社員一人ひとりの能力を上げていくことが大切だと考えております。グループ全体で2,800名いる社員のうち、日本人はおよそ4分の1の700名です。世界各地の優秀な人材を育成し経営陣に登用する方針であり、各地域の責任者の多くは執行役員として、経営会議に参加します。グループの将来を担う人材育成の一環で、「キトー・ユニバーシティ」という合宿研修を行っております。

## 5番目にご質問された株主様

質問：山梨工場の見学会に参加し、さらにファンになりました。「キトー・ユニバーシティ」について教えてください。

各子会社の経営陣から推薦された、主に若手社員を山梨本社に集め、キトーの企業文化・哲学を伝え、参加者それぞれの地域・分野で、チームリーダーとしての資質を高める研修です。終了後も同期生が集まり、情報交換を行い、グループ横断的に連携を強化しています。

## 6番目にご質問された株主様

質問1：会社四季報に中国でのコピー品排除によりシェア拡大とありましたが、具体的な内容を教えてください。

米国との貿易摩擦により中国の景気減速が懸念されていますが、キトーの中国事業は、昨年来、好調を維持しています。景気減速のなかでも成長産業の投資需要を着実に捉えていることに加え、コピー品の排除も進んでいます。知的財産の保護に関して、中国当局の取り締まりが強化されており、かねてより当社が当局に訴えていたコピー品メーカーが摘発されています。

質問2：カントリーリスクの考え方について、教えてください。

場所により様々で一概には申せませんが、それぞれに想定されるリスクに気を配りながら事業を展開しております。テロが発生した場合は出張者へ注意喚起を行い、必要ならば避難指示を出すなど、社員及び関係者に被害が出ないよう最大限の努力を行っております。

質問3：製品の耐久性を高める取組みについて、教えてください。

キトーの製品は重量物を取り扱うため、製品に万が一のことがあれば、お客様の生命、財産を毀損する危険性があることを常に念頭に置いています。法令や規格の要求以上に厳しい社内基準を設けて、製品の設計を行い、耐久試験も行っております。

## 7番目にご質問された株主様

質問1：米州セグメントの利益率が相対的に低いことについて、ご説明ください。

米州は現地で販売した利益のみが計上されており、一方日本で製品を製造し、米国に輸出をした際の利益は、日本セグメントに計上されています。実質的には、米州事業の利益水準は、日本事業にほとんど遜色ありません。

質問2：機械セクターの企業では減益予想の企業も多いなか、増収増益の予想を出されている背景を教えてください。

今期の先行きについては様々な要因があり、断言はできませんが、投資需要が堅調に推移しております。先行きの見通しに変化が生じた場合は速やかに開示を行います。

## **8番目にご質問された株主様**

質問1：有価証券報告書の早期開示のニーズが高まっています。取り組まれてはいかがでしょうか。

貴重なご意見をありがとうございます。可能な範囲で取り組みを続けてまいります。

質問2：本日で退任される淡輪社外取締役、安永社外監査役から一言お願いします。

この会社が好きで、グローバルな企業作りに参加したいと12年間取締役を務めてまいりました。キトーはお客様のことを一所懸命に考え、株主様にもきちんとコミットする真面目な企業文化で、買収先のリーダーにも真摯に向き合い信頼関係を築く、良い経営哲学のある会社です。

毎月、議論が活発に行われる取締役会に参加することを楽しみにしておりました。今後とも、キトーをよろしく願いいたします。

本件に関するお問い合わせ  
株式会社キトー  
コーポレート・コミュニケーション部  
TEL: 03-5908-0161  
MAIL: ir@kito.com